

社会教育委員 だより



▲伊那の風景を全国の方に描いていただくことを目的に、3年に1回企画している全国公募展「第五回信州伊那高遠の四季展」が開催されています。社会教育委員副会長の鈴木さんも社会教育の実践活動として作品応募をし、秀作に選ばれました。

TOP I X

- ・ 第一回定例会を開催しました。
- ・ 社会教育委員さんを紹介します。(任期：平成24年4月～26年3月まで)



伊那市生涯学習基本理念

—— 共に学び、今に生かし、更に深め、未来へとつなぐ ——

伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課 〒396-8617 伊那市下新田 3050 番地
電話：0265-78-4111 (内線 2723) F A X : 0265-72-4142
Eメール：sgs@inacity.jp

お問い合わせなどはこちらまで



第

一回社会教育委員会議（定例会）を4月19日に開催しました。定例会では、委員の委嘱、本年度の事業の取り組みの方針について検討を行いました。

社会教育委員の任期は平成26年3月末までで、前期から連続で就任した委員が7名、新たに委員となった方が3名、合計10名が久保村教育長から委嘱書を受け取り、その後、正副会長を選出しました。会議では、今年度の生涯学習関係予算、行事日程が事務局より説明されました。また、本年度の活動として、例年どおり県や上伊那地区での研修会などへの参加のほか、「社会教育委員による実践活動の取組み」として6本の柱による事業に取り組むことを決定しました。



委員紹介



兼子 文徳
(伊那・会長)

四年間社会教育委員として、市民の皆さんの生涯学習の場に参加

させていただきました。

市立図書館の「お話広場」で、まだ幼い子どもたちに読み聞かせをする若いお父さんに出会いました。体中を使って、語るように話す姿が印象的でした。じっと聞き入る子どもたちに、お父さんの一言ひと言がしみ入るようでした。きっと、語るお父さんも

聞く子どもたちも素晴らしい絵本の世界に入れたことでしょう。

また、新たな出会いを楽しみに頑張ります。



北原 和俊
(富県)

この4月より社会教育委員になりました。何をどのようにやったら

良いかも分からず、暗中模索の勉強中ですが、今感じていることを述べます。

現在、各地で行われている「夏休みおい

で塾」は、私も3年ほど関わらせていただいておりますが、子どもたちにも好評で大きな成果を上げています。特に高校生ボランティア参加は画期的なことであり、青少年の健全育成の面からも意味があり、今後とも一層拡大充実していったらいいと思います。



中島 誠
(美篤)

社会教育委員になって5年目。ようやく自分の任務のあり方を理解しつつあり、その中核の活動は公民館活動である。運営審議委員長として、美篤の地域に合った活動の方向性の改善に力を入れたい。各地区の分館長さんとの連携、公民館運営審議委員と分館長会との合同会議、そこでは本気で取り組んでいただいている活動への賞賛と激励、一パイやりながらの談笑、今年も成人式、文化祭、区民大運動会等々、楽しみである。



登内 美貴子
(手良)

この2年間で見て聞いて体験してきたことを、今年は地域におろしていけたらと思います。手良では、夏休みおいで塾を立ち上げ、最初から参画できることを今から楽しみにしています。それに、伊那北小学校では「木育」に取り組むとのことで協力要請がありました。これも楽しみです。伊那市でウッドスタート事業が11月から始まり地域産材で地元の職人さんが手掛けた木のおもちゃが6か月児にプレゼント、安心安全のぬくもりが伝わってきます。



林 一夫
(東春近)

少子高齢化社会の真只中、高齢者のみの世帯が多く、この世帯の高齢者は、医療機関への通院や買い物等に不便を感じている人が多くおります。医療機関への送迎（片道）については、東春近社協が平成19年11月から実施しておりますが、買い物や家庭ごみの搬出に苦勞している人には、対応できていません。

こんな現状から地域住民へのボランティア活動への関心や社会貢献意識を高める活動も社会教育委員の役割と受け止め取り組んで参りたい。



重盛 栄子
(西箕輪)

伊那市では、「社会教育委員実践活動の取り組み<6つの柱に沿って・・・>」とあり、その1つの柱「現場に足を運ぶ活動」を例にとってみても、多くの貴重な体験をさせていただきました。興味を持ったイベント活動等に参加し感じたことは、大勢のスタッフやボランティアの皆さんが一生懸命に活動を支え、作り上げていく姿で頭の下がる思いでした。

今期は「ほんの少しでも何かお手伝いができれば」と願いながら与えられた機会を大切に過ごしてみようかと思っています。



唐木 孝雄

(西春近)

委員をお引き受けしたものの、何をしたらよいのか、今はまだよくわかっていません。まずは「社

会教育委員による実践活動の取り組み」に従って、「現場へ足を運ぶ」「日頃から手に汗握る」から実践してみようと考えています。これまで縁の薄かった生涯学習ですが、これからは教育委員会の行事や公民館の活動にできるだけ参加し、スタッフや参加者の姿を通して生涯学習の有り様を実地に学び、私にできることを見つけて少しでも皆様のお役にたてるようにしたいと思います。1年生なりに精いっぱい務めてまいりますので、ご指導ご支援をよろしくお願いします。



北原 公雄

(高遠町)

昨年12月から今年1月にかけて、都合5回にわたって開講されました

高遠そば打ち講座に出席しました。

主催は高遠町公民館と高遠そば組合でした。講座は、何人かの講師の方々の指導の下に、道具類の用意と使い方、原材料とその配合そして作業開始(水回し、練り、延し、切り、ゆで)についてテキスト等による講話の後、不安ながらも個々での初体験に入った。約20名程の出席者は、互いにそばに果たしてなるかどうか心配したが、講師の方々の行き届いた指導と同志の励ましにより、どうか全員がそば作りができました。

何事もそうであるように、基礎的な分野と体を通しての体験の大切さを改めて痛感しました。また、そば粉は生物であることを肝に銘じ、作業工程に従って丁寧に作業をこな

していくことへの心がけの大切さにも気づきました。

そば作り講座を通じ、共に学び合い次へのステップにつなげ、よりおいしいそばづくりに挑戦するため次期講座の開講の日を楽しみにしております。



鈴木 岬

(高遠町・副会長)

二期目を迎えても社会教育委員の「教育」という2文字がとても

重く、義務感に押し潰されそうになります。教えるとか育てるとかいう事は、他に影響を与えて成長させる事のように思われますが、私は前の2年間で悩み考えた末、「教育」を文化に置き換えてみました。地域の大切な文化、年代によって意味を持つ文化、それ等につながる行事には多く参加して、多くの人と関わる事が社会教育活動の基本ではないかと思っています。



伊藤 智良

(長谷)

初めての社会教育委員の職をいただいた。無知の私は行政必携を借りて、教育の定義、委員

の職務等について読んでみた。しかし、広義の語句でさっぱり理解ができません。以前、公民館長の職をいただいたときも、法の公民館の条項を読んだが、理解できず、仕方なく「成り行き」に任せて3期6年お世話になった。今思うと、「成り行き」に任せたことが、法の項目を幾つか成し得たかなと思っています。今回も深く考えず硬い文章や甘い言葉に惑わされず、諸先輩に教わりながら活動したいと考えています。よろしくお願いいたします。